

オシメルチニブ経口療法（連日）

医薬品名	投与量	期間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	...
オシメルチニブ錠	80mg/body	毎日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

■EGFR（ヒト上皮増殖因子）チロシンキナーゼ阻害薬の副作用への対応

- 間質性肺疾患 ----- 息切れ、息苦しさ、空咳、発熱の症状が現れた場合、速やかに病院に連絡する。
- 皮膚乾燥 ----- 皮膚の乾燥がひどくなることがある。保湿クリームを使用し保湿を心がける。
- にきび様ざ瘡 ----- 顔や前胸部、頭皮などににきび様のざ瘡が現れる場合がある。保湿とステロイドの外用薬を使用する。
- 爪囲炎 ----- 爪に炎症が発生することにより痛みを伴うことがある。保湿とステロイドの外用薬、テーピングでケアをする。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。
- 下痢 ----- 排便回数や便の性状を記録する。
- QT間隔延長 ----- 動悸、めまい、ふらつき、気を失うようなことがある場合は病院に連絡する。
- 好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。
- 血小板減少 ----- 血小板が減少する場合があるためケガなどに注意をする。